

維持補修工法『フォームライトW』

現場発泡ウレタン維持補修&補強工法

【用途】 ポンツーン充填(浮力材)、空洞充填(間詰材)、橋梁下部充填(盛土材)、シエッド(緩衝材)、他

【トピックス】

ウレタン・フロート工法（フォームライトW）は、国土交通省の「新技術情報・NETIS」に登録されていた技術です

■製品概要

現場発泡ウレタンを用いた維持補修&補強工法とは、現場において必要な量に応じて、地形および構造物に合わせた形状に硬質ウレタン樹脂「フォームライトW」を発泡・注入させることで、より低コストで長寿命化を図り、ライフサイクルコストを抑えられる工法です。

《特長》

- 1.軽量性 密度が36kg/m³と超軽量です
- 2.強度特性 圧縮強度が120kN/m²以上です（T-25荷重対応）
- 3.経済性 対応性に富み経済的な施工が可能です
- 4.施工性
人力施工が可能です（大型建設機械を必要としない）
- 5.現場対応性 現場形状に追従した施工が可能です



ポンツーン（浮棧橋）充填

用途例

現場発泡ウレタンの特長を有効に活用して、下記に示すような用途以外にも、不要になった管渠等の充填、既設橋梁舗装面の高上、隧道表面の保護、鋼材の腐食(防錆)対策や雨水浸食による法枠背面の空洞部充填など様々な場所で適用するのが可能です。



ポンツーン（浮棧橋）内部充填

経年劣化により老朽化したポンツーン内部に超軽量ウレタンを充填しポンツーンの延命化を図る



構造部背面空洞充填

液状化や雨水等の影響で構造物背面が洗掘された場所に超軽量ウレタンを充填し構造物の崩落を未然に防ぐ



暗渠内部充填

不要になった暗渠（管渠・カルバート）に超軽量ウレタンを充填し暗渠および上部盛土の崩落を未然に防ぐ



既設橋梁下部充填

老朽化した橋梁（上部工）の下部空洞部に超軽量ウレタンを充填することで橋梁倒壊防止